

エンジニアリングブリッジが「春の集い」

一般社団法人のエンジニアリングブリッジ（名古屋市中村区、植竹伸二代表理事）は4月21日、名古屋市内で「春の集い」を開催した。産業機械メーカーや機器メーカー、商社、設計会社など39社から計63人のエンジニアが参加し、技術談議に花を咲かせた。

植竹代表理事は冒頭、「『高付加価値の領域をどう取り込むか』『新しいビジネスモデルをどう構築するか』など、製造業のお客さまが抱える課題は同じ。今回集まった会員企業の皆さまの力を結び付けることで、より幅広い仕事ができるようになる」とあいさつした。

同団体はエンジニアと企業の架け橋になることを目的に、植竹代表理事が昨年4月に設立。春の集いでは植竹代表理事が1年間の活動も振り返り、「昨年7月に本格的に活動を開



始してから本日までに48社が入会した。エンジニアに交流の場を提供するのに加え、マッチングサービスや『なんでも相談』も手掛けており、これまでに13件のマッチングと5件の相談に対応した」と報告した(=写真)。